……けど、何を忘れたとしたってコノミが助かるなら、それでいいじゃないか。

何を忘れたとしても、こうしてコノミがずっと苦しんでいるよりずっといい。

だったら、迷うことなんかない。

ありがたく聞いた通りにトキワスレの花をとってきて、煎じなきゃな。

「教えてくれてありがとう、イバラ」

;CHR I08F C

#cg イバラ iba\_1\_08f 中

#wipe fade

#voice ibad0058

【イバラ】「コノミのためなのになんでニンゲンが礼を言うんだ？」

不思議そうな顔でイバラが聞いてくる。

「俺もコノミを助けたいからだよ」

;CHR I05F C

#cg イバラ iba\_1\_05f 中

#wipe fade

#voice ibad0059

【イバラ】「ふん。ニンゲンは人間にしてはいい心がけだな」

「じゃ、早速とってくるから、コノミの様子を見ておいてくれるかな」

#voice ibad0060

【イバラ】「わかった」

;CHR OFF

#cg all clear

#wipe fade

俺に掴まっているコノミの指をそっと解いて立ち上がった。

苦しい息の下でも不安げな顔をしているように見えて心苦しい。

「ちょっと待っててな。すぐトキワスレの花、摘んで戻ってくるから」

;FACE I07F

#face f\_iba\_0\_07f 94 466

#voice ibad0061

【イバラ】「大丈夫だぞ、コノミ。ニンゲンはどっかに行っちゃったりしないから」

イバラが声をかけると、コノミの顔が少しだけ和らいだ。

そんなに不安なのか。

早くとってきて、傍についていてやらなくちゃな。

;CHR I01F C

#cg イバラ iba\_1\_01f 中

#wipe fade

#voice ibad0062

【イバラ】「くれぐれも摘む時にも花粉なんか吸い込むんじゃないぞ」

念を入れるようにイバラが重ねて言い聞かせてくる。

「わかった。俺の方が先にお前たちのこと、忘れたりしちゃ困るもんな」

;CHR I05F C

#cg イバラ iba\_1\_05f 中

#wipe fade

#voice ibad0063

【イバラ】「……そういうことだ」

;CHR OFF

#cg all clear

#wipe fade

イバラが教えてくれたんだから、絶対に効くはずだ。

俺はすがるような気持ちで小屋の扉を開いた。

;コノミ好感度+1

#set f3 f3+1

;dk02\_2へ

#next dk02\_2